

エネルギーミックスの決定(2015年7月)

エネルギーミックスの実現

- 省エネルギー:
 - 石油危機後並みの大幅なエネルギー効率の改善
- 再生可能エネルギー:
 - 最大限の導入拡大と国民負担の抑制との両立
- 原子力:
 - 安全性を大前提に、可能な限りの原発依存度の低減、競争環境下での事業環境整備
- 化石エネルギー:
 - 低炭素化、低廉かつ安定的な資源の確保

システム改革関連法案の成立(2015年6月)

システム改革の実行

- 産業競争力の強化:
 - 付加価値の高い、効率的な産業構造の構築
- 需要家利益の向上:
 - 需要家による価格やサービス面でのメリットの享受
- 海外市場の開拓:
 - 総合エネルギー企業などのエネルギー産業の国際展開

廃炉・汚染水対策・福島復興

- 汚染水対策: 「取り除く」「近づけない」「漏らさない」の基本方針に基づく対応
- 廃炉対策: 「使用済燃料プールからの燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」等の着実な実施
- 福島復興: イノベーション・コースト構想の具体化に加え、事業再建・自立に向けた支援の加速

来年のG7日本開催を見据えた、多国間・二国間での国際枠組みの活用

- エネルギー政策の国際的共有・連携
- 石油・ガス等の低廉かつ安定的な供給確保
- エネルギー産業及び技術の国際展開